

2 給水管

指針の「4.2 管路構造物及び付属施設、4.2.5 給水装置の耐震化」に示された考え方および過去の被災事例から、硬質ポリ塩化ビニル管による給水管の耐震設計上のポイントは次のとおりとなる。

- ①管の種類は、HIVP（耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管）を使用する。
- ②管路中にソケットは極力使用しない。
- ③エルボの代わりに曲率半径が大きいベンドを使用する。
- ④分水栓、止水栓、量水器などの器具との接続部には、伸縮可撓継手、フレキシブル継手またはSベンドを使用する。

図-11～図-13に、当協会が提案する耐震管路の例を示す。

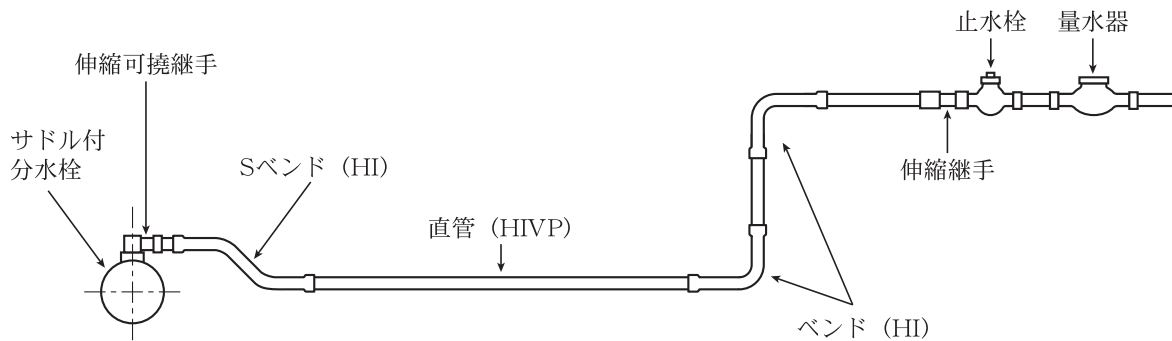


図-11 耐震管路の例（呼び径13～30）

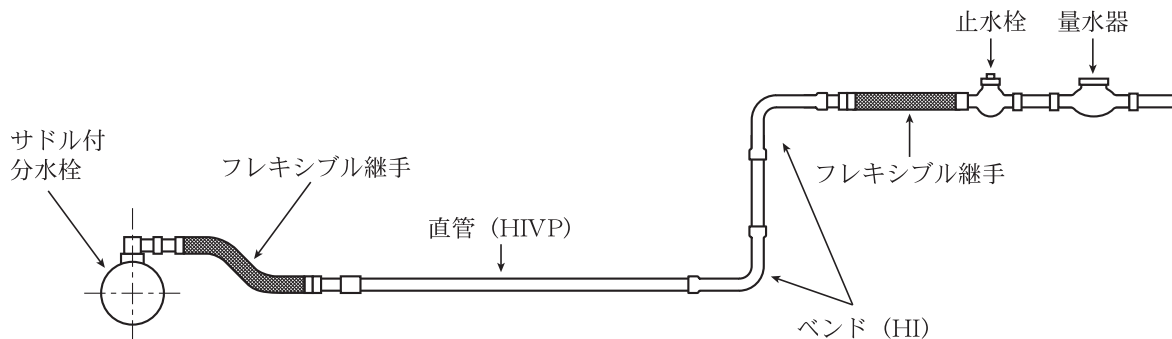


図-12 耐震管路の例（呼び径40～50）

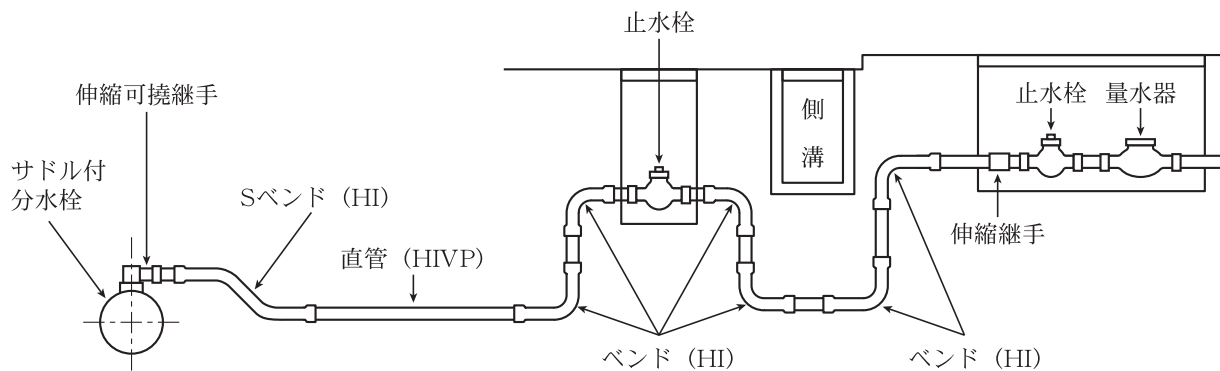


図-13 耐震管路の例（道路下に止水栓を取り付ける場合、呼び径13～30）